
令和6年度 朝来市議会 高校生議会 会議録

令和6年8月1日（木曜日）

議事日程

令和6年8月1日 午後1時06分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 一般質問

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 一般質問

高校生議員（15名）

1番 石井優里君	2番 磯愛理君
3番 坂本美月君	4番 稲葉愛美君
5番 井上聖陽君	6番 岡山凜香君
7番 土井星奈君	8番 井手口爽君
9番 藤原成菜君	10番 平岡由衣君
11番 細川陽葉里君	12番 松田尚大君
13番 大林ゆあ君	14番 福元礼捺君
15番 山内勇斗君	

市議会議員（18名）

上田幸広君	横尾正信君
松井道信君	水田文夫君
加藤貴之君	関綾乃君
吉田俊平君	尾崎里美君
藤原正伸君	足立義美君
西本英輔君	浅田郁雄君
藤本邦彦君	日下茂君
森下恒夫君	嵯峨山博君

渕 本 稔君

森 田 龍 司君

来 賓（３名）

市長 ————— 藤 岡 勇君 副市長 ————— 天 野 修 二君
教育長 ————— 小倉畑 祐 貴君

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 ————— 宮 元 広 司君 議会事務局次長 ————— 榎 谷 進 一君
議会事務局主幹 ————— 北 垣 敏 彦君 議会事務局主幹 ————— 宮 崎 隆 史君
議会事務局議事係長 ————— 竹 村 真 一君

午後１時 06 分開議

○議会事務局長（宮元 広司君） 皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度朝来市議会高校生議会を始めさせていただきます。

最初に、主催者を代表し、朝来市議会、森田議長が御挨拶申し上げます。

○議長（森田 龍司君） 皆さん、こんにちは。朝来市議会議長の森田龍司です。令和6年度朝来市議会高校生議会の開催に際し、一言御挨拶を申し上げます。

まず、県立生野高校と県立和田山高校の皆さんには、高校生議員として高校生議会に参加いただきありがとうございます。また、生野高校の高見校長先生、和田山高校の小川校長先生をはじめ両校の先生方には、本議会の開催に当たり、多大な御支援を賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。

高校生議員の皆さん、柔道の阿部詩選手の試合を見られましたか。結果はとても残念でしたが、試合後の彼女のおえつと涙する姿からは、オリンピックで金メダルを取るという目標に向かってひたすらに彼女の全てを費やしてきたことが分かりました。私は、その彼女の姿に心から称賛を送ります。そして、今回の結果は、彼女にとって、人間的にも競技者としても、もっと大成するための貴重な経験であり、必然であったと思っています。

高校生議員の皆さんも今日のために多くの時間を費やし、万全の準備を進めてこられたと思います。とても大事なことは、これまで準備を進めてきたこと、高校生議員としてこの場に立っていることです。ここに志高く高校生議会に臨む皆さんに心から敬意を表します。今はとても緊張されると思いますが、どうぞ自信を持って臨んでください。私たち議員も、皆さんのエネルギーに臆することなく真剣に答弁をさせていただきます。

それでは、お互いの力を出し切って、すばらしい高校生議会をつくり出していきましょう。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、本日は来賓として、藤岡市長、天野副市長、小倉畑教育長にも御臨席を賜りましたことに心から感謝申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

○議会事務局長（宮元 広司君） ありがとうございます。

次に、御来賓を代表して、朝来市長、藤岡勇様から御挨拶をいただきます。

○市長（藤岡 勇君） 高校生議員の皆様、こんにちは。令和6年度の朝来市議会高校生議会に、高校生議員の皆様には夏休みのお忙しい中、御参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今年も厳しい暑さが続いております。本市では、クールスポットというものを公共施設に設置しております。ステッカーとのぼり旗が目印となっておりますので、熱中症予防に遠慮なくお立ち寄りいただきたいと思います。

さて、本日は、高校生議会の皆様から、自分が暮らす地域の課題や将来のまちづくりについて御質問いただき、朝来市議会議員の皆様から答弁がなされます。昨年度も高校生議会の御質問から、令和6年度の市政に反映させていただいた事例もございます。本日も私どもは傍聴席から高校生議員の皆様のお質問をお聞きし、市政運営の反映に努めてまいりたいと思っております。高校生議員の皆様にとりまして、貴重な体験と有意義な時間になりますことを御祈念申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○議会事務局長（宮元 広司君） ありがとうございます。

ここで、御来賓の方を御紹介いたします。

先ほど御挨拶をいただきました藤岡市長のほかに、朝来市副市長、天野修二様、朝来市教育長、小倉畑祐貴様、御臨席いただいております。誠にありがとうございます。

それでは、開会までしばらくお待ちください。

午後1時13分休憩

午後1時15分再開

○議長（松田 尚大君） 議長に就任しました生野高等学校の松田尚大です。不慣れではございますが、皆様方の御協力をいただき、円滑な議事運営に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員15名、定足数に達していますので、令和6年度朝来市議会高校生議会を開会します。

本日の議事日程はお手元に配付しているとおりであり、朗読は省略します。

これから、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（松田 尚大君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、1番、石井優里さん、4番、稲葉愛美さんを指名します。

ここで、報道機関、学校広報担当者、市広報担当者、市ケーブルテレビセンター、広聴広報常任委員会及び議会事務局から写真撮影の申出がありますので、これを許可します。

日程第2 会期の決定

○議長（松田 尚大君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本議会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田 尚大君） 異議なしと認めます。

本議会の会期は、本日1日限りと決定しました。

ここで、本日の議事運営について申し上げます。

本日の一般質問は、通告第1番から通告第14番までとします。

通告第8番が終了後、休憩し、議長を交代します。

また、質問方式は、1人、一問一答のみとし、追加の質問は認めません。答弁については、市議会議員が行いますので、御了解願います。

日程第3 一般質問

○議長（松田 尚大君） それでは、日程第3、一般質問を行います。

最初に、通告第1番、石井優里さんの一般質問を許可します。

議席番号1番、石井優里さん。

○議員（1番 石井 優里君） それでは、私、石井優里が、朝来市をより広くアピールするスイーツについて質問させていただきます。

この高校生議会という場で発言をさせていただくことで、私は朝来市にたくさんの人が訪れ、地域の経済がより活発になればと考えています。そのようなことが実現することで、朝来市に住む人がより豊かな生活を送ることができるのではないかと考えているからです。

では、質問をさせていただきます。

かつて、竹田城跡にまつわる「雲海もふもふソフト」という商品をPRされていたと思うのですが、現在は見かけることがありません。この商品に実際にどのような経済効果があったのでしょうか。また、同様の地域の資源を生かしたスイーツの商品化を進めることはあるのでしょうか。

私は和菓子が好きで、魅力的なスイーツの話を聞くと、つい気になってしまいます。きっと私のような人は少なくないと思っています。今、改めて朝来市の魅力が伝わる商品を開発し、PRすることができれば、外国からのお客さんも含めて朝来市に来てもらえるきっかけになるかもしれません。朝来市としてのお考えをお聞かせください。

○議長（松田 尚大君） 関綾乃議員、答弁願います。

○関 綾乃君 改めまして、令和6年度の高校生議会へ御登壇をいただき、ありがとうございます。

そして、高校生ならではのフレッシュな視点で、学業とともに、朝来市の魅力について真剣に取り組み、お考えをいただいていることに感謝を申し上げます。

では、石井優里議員の御質問に答弁をさせていただきます。

雲海もふもふソフトは、2018年に、それまで来場割合の少ない20代前後の若者世代を新たに竹

田城跡に誘客するため、SNSでの発信を最大限に生かせる商品づくりとして実施をいたしました。2018年9月半ばから11月末までの週末25日間で約920個を売り上げました。経済効果はなかなかはかりにくいですが、インターネットのプレスリリースなどの効果、また、インスタグラムのフォロワーも約3分の2が20代から30代であり、期待した若者世代へ一定のPR効果はあったものと考えています。開発後、竹田町なかのカフェなど3店舗で販売をしておりましたが、コロナ禍となり、販売を休止している状況です。今後の再開については検討中です。

また、朝来市PRのスイーツということで、ふるさと納税の返礼品に菓子ジャンルで出品しているものが約30品目あり、暑い季節の現在は、ラムネ味のくずアイスなどに多くの申込みをいただいております。令和5年度実績で言いますと、菓子ジャンルの返礼品にお申込みをいただいた件数は約1,800件あり、返礼品全体の申込件数が約2万件ありますので、菓子ジャンルで約9%を占めていると言えます。

現在、道の駅を含め、朝来市PRのスイーツや菓子には、岩津ねぎ煎餅、生野紅茶を使ったオオサンショウウオクッキー、ジャージー牧場のジェラートやチーズケーキ、アーモンドブリュレ、プリン、朝来みどりの緑茶を使ったきんつばや黒大豆を使ったロールケーキなどがございます。

石井議員御指摘のように、地域資源を生かしたスイーツで朝来市の魅力をさらにPRできれば、国内外だけでなく、幅広い年代のお客様にも朝来市のファンになっていただけたと考えます。商品開発については、民間事業者が行う開発で、補助金等で支援することになりますが、朝来市ブランド政策に向け、より一層の開発を前に進めるためにも、定期的なスイーツコンテストなどの開催も有効と考えます。こうした既にある商品のPRを行うとともに、にぎわい創出補助金制度などを活用した起業により、新たな特産品が創出されることをしっかりと支援してまいりますこととお約束し、私の答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（松田 尚大君） 以上で、石井優里さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第2番、磯愛理さんの一般質問を許可します。

議席番号2番、磯愛理さん。

○議員（2番 磯 愛理君） それでは、私、磯愛理が、アグリツーリズムを活用した地域活性化について質問させていただきます。

私は、朝来市の人々が生き生きと活動し、どの年代も元気に楽しく過ごせるまちを実現したいと考えています。それを実現するために、朝来市の自然や農業を活用したアグリツーリズムを取り入れ、地域活性化を目指すことを提案します。

アグリツーリズムとは、その土地以外から来た観光客が農村や農場に足を運び、そこで暮らす人々と交流して、自然の中でその時間を楽しむ活動のことです。近年注目されている体験型の旅行であり、都会の方や外国人観光客を呼び込むことができます。また、観光客と地域の人々が一緒に活動することで、地域の人々もその地域の魅力を再発見することができると思います。田んぼや畑を使った体験であれば、年齢を問わず、子供から大人まで一緒に活動することができます。さらに、人手不足の農家さんにとって、収穫のお手伝いや農業の魅力を発信できる機会になると思います。

現在、農林水産省では、アグリツーリズムに類似した農泊の推進を行っていて、支援制度や農泊インバウンド受入促進重点地域の応募を行っています。これらを活用して、多くの人に朝来市の豊かな自然を体験してもらい、地域の人々と農家の方と観光客が交流できる取組を実施してみたいかがででしょうか。御検討ください。

○議長（松田 尚大君） 藤本邦彦議員、答弁願います。

○藤本 邦彦君 それでは、磯愛理議員の質問にお答えいたします。

アグリツーリズムを活用した地域活性化という御提案ですが、朝来市にとって大変重要な課題である、そのように考えております。朝来市としましては、農業体験や自然体験をメニューとした体験型観光について、その重要性を理解し、研究しているところです。また、この取組において、農泊が重要となることも御指摘いただいているとおりと考えております。

現在、朝来市内でこういった取組について、事例を御紹介いたします。

現在、様々な具体的な事業が市内各地域で取り組まれています。

一つ目ですが、市内の地域自治協議会の取組では、都市部の企業と連携しまして、毎年春と秋に都市部にお住まいの御家族約 80 名の方を御招待し、田植体験、稲刈り体験のほか、サツマイモの苗植えや収穫体験、ほかに、田舎の自然に触れ、田舎のおいしい食を楽しむなどの体験活動。こういったことを地域住民、農家さんの協力の下で行っております。この取組は、自治協議会発足当初から 10 年以上にわたって続けられております。こちらの自治協議会では、今後は宿泊施設の整備なども進めながら、このような取組をさらに発展させたいと考えておられるようです。

また、朝来市特産品の岩津ねぎを活用した岩津ねぎ掘りの体験会も大変好評です。市内の若手農家さんのグループが企画運営され、シーズンには延べ 300 人ほどの参加者があり、姫路や加古川から来られる方が多いとのこと。

また、生野の黒川地区では、農業体験やオオサンショウウオの観察ができる農家民宿が運営されております。こちらでは多くの外国からのお客様も訪れる大変有名なスポットとなっております。

これらはほんの一例ですが、朝来市内では、規模は違えど様々な形態でアグリツーリズムの事業が取り組まれています。しかしながら、そのような取組は決して多いとは言えず、多くの課題を抱えているのが現状であるというふうに考えております。一番の課題は、このような事業に取り組まれる方がまだまだ少ないということです。朝来市のポテンシャル、可能性は大変大きいと考えておりますが、この事業に取り組まれる方がいないと、これ以上の発展は望めません。

また、農作業体験、自然体験の現場では、地域の方、農家の方の協力が必要となります。この協力者の存在、このことが大変重要なポイントであり、ここでも人材の確保が大きな課題と言えます。

そうした課題解決のためにですが、アグリツーリズムの魅力や可能性についての説明会や、実践されている方の報告会を行うなど、関心を持つ市民の方への情報提供の場を設けることが必要ではないかと考えております。特に成功事例を広く市民の皆様にお知らせするなどの取組がもっと必要ではないかと考えております。また、アグリツーリズムが事業として成り立つためには、この事業に取り組まれる方の収入が十分でなければなりません。事業の成功モデルをもっと増やすことで、

大変魅力的で夢のある事業であることを証明できれば、取組はもっと増えるものと考えております。

さらに、アグリツーリズムの取組におきまして、田舎暮らしに興味のある方の朝来市への移住を決めるきっかけにもなっております。実際に市内で農業体験イベントをきっかけに移住された方も多くいらっしゃいます。こうしたことで議員の提案、ぜひ大切にしながら、今後も推進していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（松田 尚大君） 以上で、磯愛理さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第3番、坂本美月さんの一般質問を許可します。

議席番号3番、坂本美月さん。

○議員（3番 坂本 美月君） それでは、私、坂本美月が、J R和田山駅前の活性化と電車利用者の利便性の向上について質問させていただきます。

私は電車通学のため、J R和田山駅を毎日利用しています。昔は売店があったようですが、現在は待合室のみで、近くにコンビニエンスストアもスーパーもなく、不便に感じることがあります。そこで、電車を利用する学生や社会人の方、駅前在住・在勤の方にとって便利でより魅力的なまちにするために、J R和田山駅に売店、もしくはコンビニエンスストアやスーパーを誘致することを提案します。

駅にコンビニエンスストアがあることで、昼食や文房具を買うことができ、通勤・通学をする人にとってとても便利になると思います。24時間営業だとコストがかかってしましますが、営業時間を始発から終電に絞ることでコストを抑えることができると考えます。

現在、イオンの「まいばすけっと」というスーパーが各地の駅で多く誘致されています。小型のスーパーなので、J R和田山駅にも誘致しやすいと思います。

これらのことを踏まえて質問です。今後、J R和田山駅の利便性を向上させるために、朝来市としてどのようなことを計画されていますか。私の提案する売店やコンビニエンスストア、スーパーなどを誘致することは実現可能でしょうか、お答えください。

○議長（松田 尚大君） 横尾正信議員、答弁願います。

○横尾 正信君 それでは、3番、坂本議員の質問へ答弁をいたします。私、横尾正信が担当いたします。

坂本議員は和田山駅を利用して、駅の構内でお弁当、文具などが買えれば便利なんだがという日常の感想から、駅の構内に売店やミニコンビニはできないか。また、地域の人のニーズも考えて、駅のそばにミニスーパーなどができないかとの提案でございます。

そして、朝来市は、和田山駅の活性化にどんな計画を持っているのかとの質問であります。

まず、駅の中に売店やミニコンビニが展開できないかという可能性ですが、若干調査をしました。現在、J R西日本管内の駅における売店等の出店は、J R西日本デیلیーサービスネットという会社が担当しております。昭和62年から営業しておりまして、現在、西日本管内で170店舗を運営しています。近くでは、姫路駅や加古川駅、福知山駅などがあります。加古川駅の年間乗降

客は2万1,383人、福知山駅は7,434人です。1万人程度の乗降客、乗換え客が出店の目安というところでございます。豊岡駅は2,978人、和田山駅は946人であります。ただ、東舞鶴駅は乗降客2,800人ですが、例外として、お土産専門店を出店しております。

先方の回答は、質問者の坂本様には申し訳ないが、和田山駅の乗降客の現状ではとても採算が合わないので、ショップの開設は無理とのことでありました。駅前に最近まであったミニコンビニも現在は閉店されております。

また、朝来市としまして、和田山駅及び周辺の利便性の向上や活性化は重要なテーマですから、改善計画は持っています。主なものは、駅の南北自由通路の開設、駅北広場の整備、れんが機関庫の活用・整備、また、駅前広場周辺の再整備などであります。残念ながら、買物の利便性の向上は計画の中にはないようであります。

和田山駅の利便性の向上という観点からは、ショップの開店だけではなく、高齢者や障害者のためのエレベーターの設置、あるいは自転車置場の設置、高校生送迎の利便性の向上施策など、まだまだたくさんの課題がありますので、市議会としても、皆さんの提案も参考にして、改善に努力したいと思います。

また、乗降客が1,000人を切っている和田山駅の現状は、駅の利便性の向上どころか、むしろ寺前和田山間の路線の廃線の危機にあるのが正直なところでございます。この危機に対して、今、朝来市が60億円を負担しても播但線全線電化が必要であるという主張もございます。どうか、こうした点にも関心を持っていただきますよう、お願いをいたします。

以上で答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（松田 尚大君） 以上で、坂本美月さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第4番、土井星奈さんの一般質問を許可します。

議席番号7番、土井星奈さん。

○議員（7番 土井 星奈君） それでは、私、土井星奈が、電車の待合室を有効活用するための提案について質問させていただきます。

私は、和田山高校に入学してから通学で電車を利用しています。ある日、小さな男の子が、「嫌だ、おなかすいた、いつになったら電車来るの」と待合室で叫んでいる光景を見ました。電車の本数を増やすことができるなら、この問題は解決すると思うのですが、地方公共交通の経営状況を調べると不可能と理解しました。そこで思いついたことは、待合室の有効活用です。電車を待つ時間が退屈にならないようにテレビを設置するとよいと思いました。テーブルを置いて、色鉛筆や塗り絵、白紙の紙などを設置することで、小さな子供が退屈せずに過ごせると思います。また、DVDの貸し出しや、小説、漫画などの本棚設置もよいと思います。しかし、そこで問題になるのが、盗難の可能性です。公共の場の利用マナーを守ることが理想ですが、盗難防止のための対策は必要だと考えます。持ち出しができないように固定することや、ステッカーを貼るなどの工夫が必要です。場合によっては防犯カメラが必要になるかもしれません。

以上のことから、今までよりも電車の待ち時間が苦にならず、少しでも過ごしやすく快適に過ご

せるように、電車の待合室を有効活用することを提案します。

○議長（松田 尚大君） 尾崎里美議員、答弁願います。

○尾崎 里美君 それでは、土井星奈さんの質問にお答えします。

小さなお子さんが待合室で叫んでおられた姿を見て、駅の待合室を有効活用できないかと考えられたそうですが、相手の目線に合わせて寄り添えることはとても素晴らしいことと思います。また、この視点は大きな広がり期待できる提案だと思っています。電車の本数を増やすことができるのなら問題は解決すると思うが、地方公共交通の経営状態を調べると不可能とおっしゃっていますが、駅の待合室を有効活用することにより、人が集まり、活性化が期待でき、電車に乗る人も増え、地方公共交通の経営改善も期待できます。

現在、2050年の廃止リストに播但線も入っています。1日2,000人の乗客が確保できていない路線です。廃止になると、通勤や通学に大きな影響が出ます。そうならないためにも、市の職員は通勤に電車を使い、利用促進に努めています。

有効利用の提案をしていただきましたが、電車が来ない時間を有効に使い、実際に駅の待合室を有効利用しているところがあります。それは、電車があまり来ないおかげで待合室の自由度も増え、テーブルを設置されたりしています。テーブルを設置したことにより、子供たちが学校の宿題をしたり、トランプをしたりと利用してくれたそうです。今では、気楽に集まれる場所として認識されるようになっていきます。気軽に集まれる場所として認識されたことにより、何もなかった場所が人の集まる場所が変わっていています。そのほかにも、カフェや工房を開設されたりと、いろいろ工夫をされているところがたくさんあります。

しかし、物事にはメリット、デメリットがあります。人が集まり活気があふれる反面、土井さんの提案されたとおり、安全性には十分気をつけなければなりません。盗難や事故が起こらないよう、工夫はもちろんですが、そのほかにも、誰が設置し、維持管理するのか、責任の所在はどこにあるかなど、いろいろクリアしなければならない問題点があります。みんなが努力して協力し合わなければ、待合室を有効利用することはなかなか困難です。常日頃から横のつながりを大切にしていくな必要があると思います。

これで、土井さんの質問に対する答弁を終わります。

○議長（松田 尚大君） 以上で、土井星奈さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第5番、井手口爽さんの一般質問を許可します。

議席番号8番、井手口爽さん。

○議員（8番 井手口 爽君） 私、井手口爽が、歩行者や自転車利用者の安全確保について質問させていただきます。

歩行者や自転車の利用者など、交通弱者と呼ばれる人たちが安全に移動できるようになればいい、提案をさせていただきます。

なお、今回の提案は、私自身の経験に基づく自分事によるものです。私は、通学を含めた日頃の移動は徒歩と自転車が主となるのですが、冬場など下校時に日が沈む状況では、帰り道が非常に暗

く、足元の危険や不審者への不安を感じます。このような不安を少しでも和らげるため、通学路における街灯の整備を提案いたします。

また、歩行者用信号機の管理の状態が優れずに見えづらいものがあります。見えづらさから事故につながる不安を感じることがあります。同じく、このような不安を和らげるために、歩行者信号機のメンテナンスやLED化の検討を提案いたします。

いわゆる公共交通の衰退により交通弱者と呼ばれる人たちが増えることは避けられない中で、このような対策は重要かと思うので、ぜひ御検討をよろしくお願いいたします。

○議長（松田 尚大君） 吉田俊平議員、答弁願います。

○吉田 俊平君 それでは、井手口議員の質問にお答えします。

井手口議員の質問趣旨は、通学路における街灯の整備及び歩行者用信号のメンテナンス、LED化についてであろうと思います。

まず、交通弱者の定義について説明をさせていただきます。

交通弱者の定義は、内閣府の資料によりますと、1、移動困難、不便を抱える方、2、交通事故に遭うリスクの高い方となっており、具体的には、障害者、高齢者、妊婦、幼児、年少者、外国人となっております。

まず、通学路における街灯の整備についてであります。

街灯の整備につきましては、市が設置する道路照明と地域で設置していただく防犯灯の2種類があり、市が設置する道路照明は極めて限られており、多くの場合は地域に防犯灯として設置と管理をしていただいております。その際には、地域自治包括交付金を原資とした各地域自治協議会独自の地域づくり支援事業を活用していただいております。したがって、通学路における街灯の整備は、地域の御理解と御協力が必要となっておるということは御理解いただきたいと思います。

しかしながら、道路照明と防犯灯の定義は明らかではなく、あえて防犯灯を定義することとなれば、道路照明を除く街灯となりますが、その際には道路照明の定義が必要となることから、一部の他の自治体が定める道路照明設置基準の作成につきましては、今後の議会活動において提案をさせていただきますと思います。

市では、交通安全施設整備事業として、朝来市通学路安全推進協議会が策定する通学路交通安全プロジェクトに基づく対策工事の発注、路面標示、道路反射鏡、道路照明の修繕、新設工事の発注、道路交通安全資材の調達を、令和6年度予算額2,970万円として実施をする予定となっておりますが、問題は、この御指摘の高校生の通学路が朝来市通学路安全推進協議会の対象となっていないということでありますから、今後におきましては、市・県の教育委員会、原課である建設課で、通学路の問題点を共有すべきと考えます。また、通学路に限らず市道においては、道路管理者として交通安全施設の整備を検討していかななくてはならないことから、建設課には、その旨既に要請をさせていただきました。その問題解決手法としては、通学路安全推進協議会への関係機関からの参加や市民アンケート、市道の損傷等通報システムの活用等が考えられるのではないかと思います。私たちが気づきにくい御指摘をありがとうございました。

次に、歩行者用信号機のメンテナンス、ＬＥＤ化についてであります。県の資料によりますと、非常に通学路の歩行者用信号機は数が多いということから、今後はこの数が減らされると、限定的に整備される可能性があるということは御承知おきいただきたいと思います。

その一方で、ＬＥＤ化につきましては、警察庁によりますと、疑似点灯現象の防止、省エネルギー効果、長寿命化のメリットがあることから、兵庫県警において、2029年度までに全ての信号機を、歩行者用、車両用まとめてＬＥＤに切り替える予定となっており、総事業費は100億8,000万円が見込まれております。また、全国的に交通弱者に対応した信号機である音響式信号機や高齢者等感應式信号機、歩行者支援信号機などは整備され始めているということもお伝えさせていただきたいと思います。

以上で、ハード整備の観点から答弁をさせていただきましたが、兵庫県ではソフト事業として、県内の事業者が宣言する横断歩道歩行者優先宣言や横断歩道等安全対策プロジェクト、合図運動プラスなども推進されておりますので、県民・市民の皆様や事業者の皆さんには、今後も御協力いただきたいと思います。

最後に、今後も皆さん、政治や社会に自分で考え、行動していただくことを期待しまして、答弁とさせていただきます。

○議長（松田 尚大君） 以上で、井手口爽さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第6番、藤原成菜さんの一般質問を許可します。

議席番号9番、藤原成菜さん。

○議員（9番 藤原 成菜君） 私、藤原成菜が、今年再開される和田山の花火大会について質問させていただきます。

私を含む多くの高校生や中学生にとって、地域のお祭りは楽しみの一つであり、同時に地域の魅力の一つであると思っています。そんな私たちにとって、2020年のコロナ禍から昨年まで、和田山夏まつり・和田山地蔵祭が中止となっていたことはとても残念でした。ところが、今年は花火大会が再び行われるという情報を知って、とてもありがたく、今からとても楽しみにしています。

そこで、今年再開される和田山の花火大会について2点お聞きします。

今年再開される花火大会とコロナ禍以前の花火大会ではどのような違いがあるのでしょうか。そして、再開される花火大会は来年以降も継続できる仕組みで行われるのでしょうか。現時点で可能な範囲でお聞かせください。

○議長（松田 尚大君） 森下恒夫議員、答弁願います。

○森下 恒夫君 それでは、藤原議員の質問にお答えします。

4年前の高校生議会で、朝来市全域で夏祭りの花火大会が復活することを期待するという趣旨の御意見をいただきました。そのときも私が答弁をいたしました。旧町ごとに夏祭りの主催者、実施方法が若干異なること、特に和田山では、旧4町と言われる四つの区でつくられた地蔵祭奉賛会が主催しておりましたが、高齢化により困難になってきたことに加え、警備の条件が大変厳しくなり、警備員を必要な数を集めることが困難になったこと等を説明いたしました。

今回は花火大会が復活するという事で、地藏盆、花火大会とどのような違いがあるのか。来年以降も継続できるのかといった質問をいただきました。

今回の花火大会は、実行委員会が新たに組織され、主催されるということであります。実行委員会は、和田山区長会をはじめ、商工会、観光協会等、多くの団体がオール和田山で組織され、これまで、準備委員会、実行委員会と合計で 10 回ほど検討を重ねてこられています。実行委員会の会長の山本正之和田山区長会会長を中心に、現在も細かい詰め協議が行われており、最終的には、警察、消防、花火業者で現場の確認が行われ、その上で決定されますが、発表はその後になります。詳しいことはチラシ等で市民の皆様にお知らせされるように聞いております。

このたび、このような実行委員会が立ち上がりましたことは、高校生の意見がまちを動かしたということで、大変意義深いことと考えています。

今回の花火大会は新たにスタートするもので、その目的とするところは、子供たちの思い出づくり、ふるさと愛の醸成とされており、大会のキャッチフレーズを現在検討中とのことです。大会の公式発表はされておきませんので、今の段階で決定とは言えませんが、実施日については、他の花火大会との重複を避けるということで、9月 28 日になったようでございます。場所については、警備上の問題があり、防災センター近くの農道からの打ち上げとなったようです。広い農地の中で打ち上げということで、これまでは、民家の火災防止の観点から、打ち上げが無理であった 4 号、5 号といったような大玉が打ち上げ可能とのことです。周辺には観客用の駐車場が十分確保されており、大勢の観客を迎え入れる計画のようでございます。これまでの花火大会とは大きく変わることになり、問題はいろいろと出てくるとは思いますが、改善しながら、年々ブラッシュアップして、近隣から人を集める大きな花火大会にしてほしいものと考えます。

オリンピックがフランスで始まりました。あれだけのイベントにどれほどの人が協力しているのか想像してみてください。花火大会に高校生である皆様にも協力できることがきっとあると思います。一緒に盛り上げましょう。終わります。

○議長（松田 尚大君） 以上で、藤原成菜さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第 7 番、大林ゆあさんの一般質問を許可します。

議席番号 13 番、大林ゆあさん。

○議員（13 番 大林ゆあ君） それでは、私、大林ゆあが、朝来市内にある公園の整備について質問させていただきます。

私は、朝来市に住む人がたくさん外に出て遊んだり、運動したりして、今よりも健康的に過ごせるようになると思っています。そのためには、子供から大人まで、散歩やスポーツが楽しめる場所が必要です。

朝来市公園条例によると、現在、朝来市には 54 か所の公園があります。私の家の近くにある公園は、狭くて、遊具も古く、安全に遊べるような状態ではありません。54 か所の公園の中には、そのような整備が必要な公園も含まれると思います。しかし、それら全ての整備や維持管理にかかる予算確保が厳しいと思います。

そこで、朝来市内の公園の量と質の整備をすることを提案します。使われていない公園や、古くて危険な遊具がある公園は、更地にして量の整備を行います。利用者が多い大きな公園をより使いやすく、幅広い世代が集える施設にすることで、質の整備を行います。このように魅力的な公園づくりをすることで、第3次朝来市総合計画にある、人と人がつながり幸せが循環するまちの実現につながるのではないのでしょうか。

これらのことを踏まえて質問です。朝来市では、公園の整備に対してどのような対策をされていますか。お聞かせください。

○議長（松田 尚大君） 日下茂議員、答弁願います。

○日下 茂君 質問ありがとうございます。それでは、大林ゆあ議員の質問にお答えいたします。

公園については、多くの定義があります。それらを整理しますと、まず、自然公園で、国立公園、国定公園、県立公園があり、朝来市内には国立公園、国定公園はありません。出石糸井県立自然公園、朝来群山県立自然公園の2か所と、朝来市の条例に記載されている親水公園が10か所、農村公園が13か所、そのほかの公園が31か所の計54か所の公園と都市公園4か所がございます。

管理が十分行き届いていないとの御指摘は全くそのとおりと思います。例えば、国道312号線に竹田親水公園がございますが、この公園は、人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育んでいくために、市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進するための水辺の楽校プロジェクトとして整備された公園です。発想も斬新で、開園当時は多くの親子連れでにぎわいましたが、その後は河川の氾濫等も重なり、管理が行き届かず、公園として機能していないのが現状です。

公園は、公衆が憩い、または遊びを楽しむために公開された場所と定義されていますが、目的が達成されていない公園が多くあるのではないかと御指摘は、私もそう考えております。一度、市内58か所の公園を点検し、各地域の住民の皆さんと行政とで、公園の在り方について話し合う場が必要と感じています。

また、機能していない公園を削減し、総合公園の整備をしてはどうかとの御指摘も、私も以前からそう考えております。例えば、福知山市の三段池公園は、池の周囲に散策道があり、周辺には、総合体育館、武道館、テニスコート、野球場が2面取れる多目的グラウンド、児童科学館、動物園、植物園、芝生広場、大型遊具のあるわんぱく広場、1,200台収容の大駐車場等が設置されています。福知山マラソンの発着場としても知られています。楽しみながら学び、体験できるをキャッチフレーズに、人の集まる場所として、活性化にも経済的にもよい影響を受けていると思われます。

朝来市にも運動公園はありますが、活性化や経済への影響は小さく、朝来市の公園整備は中途半端で大変下手くそやというふうに考えております。御指摘の件はしっかりと調査し、検討してまいります。どんな公園なら、癒やしや憩いが生まれ、明日への頑張りにつながるのか、高校生議員の皆さんの発想にも期待を申し上げ、答弁とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（松田 尚大君） 以上で、大林ゆあさんの一般質問は終了しました。

次に、通告第8番、福元礼捺さんの一般質問を許可します。

議席番号 14 番、福元礼捺さん。

○議員（14 番 福元 礼捺君） それでは、私、福元礼捺が、経済活性化のための「空き店舗バンク」の開設について質問させていただきます。

私たちは、今日の高校生議会に向けて、朝来市がより活気にあふれるまちになるための課題を話し合ってきました。その話し合いによって、どのような考えに至ったのかは、事前に提出させていただいた様式に示したとおりです。

私は、朝来市の抱える複数の課題解決のためには、移住創業者が重要だと考え、その人たちが事業を始めるまでの経済的な負担を少しでも減らすことが必要だと考えています。

そこで、空き店舗物件を取り扱うことができる空き店舗バンクを開設することを提案します。

その理由は、移住によって起業を行う人たちに、市内の空き店舗をマッチングすることで、まさに起業初期の経済的な負担を減らすことができると考えたからです。実際に登下校で和田山駅前の商店街を少し見ただけでも、多くの空き店舗があることに気づきます。恐らく市内全域で見れば、空き店舗の数は相当な件数に上ると予想されます。この多くの空き店舗を利用し、なおかつ移住創業者の負担を減らせるような政策として空き店舗バンクを開設することができれば、これまでとは違った層の移住者が増え、その人たちの事業によって、雇用の発生、観光客の増加といったことが生じて、より経済としても活性化するのではないのでしょうか。

以上のことから、これまでの空き家バンクでは取り扱うことがなかった物件を扱う空き店舗バンクの開設を提案いたします。

○議長（松田 尚大君） 松井道信議員、答弁願います。

○松井 道信君 それでは、福元礼捺さんの御質問にお答えしたいというふうに思います。

ただいまの御質問は、本市の活性化を鑑み、空き店舗の有効活用を図ることによって、本市経済の活性化につなげていこうという御意見だったように思います。

御指摘いただいておりますように、本市は人口減少が進む中で、高齢化や少子化の影響もあって、幾つかの空き店舗は既に出ておりますし、今後も出てくるものと思われます。ただ、空き店舗となる理由は様々でございまして、単純に採算が取れなくなったという理由だけではなく、後継者の不在や、あるいは高齢化、さらには、また別の場所で新規の開業や開店等、様々な要因があります。また一方で、空き店舗とはなっているけれども、店舗と住居を一緒にしているために、店は閉めたが依然として住まいはそのままになっているというところもございます。

御質問の空き店舗バンクに関しましては、先行事例として、福知山市や長野県の伊那市での例がありますが、ともに市内全域を対象というふうにはされておられません。それは、市内中心地の活性化を目的としているためで、本市の市内全体を対象とした移住定住政策を促進する空き家バンク制度とは一線は異なるもので、制度設計のコンセプトがそもそも異なっているというものでございます。福知山市の場合ですと、福知山市の駅周辺、駅から福知山城への線路から北側、広小路通り辺りまでがその対象地とされているようですが、ただ、本市の制度でも、店舗と住居の兼用は認められておりまして、既に幾つかの実績もございます。住民票を本市に移していただくということ

が前提となりますけども、カフェであったり、ペットのトリミング、古本や民泊など、既に開業し、現在も営業されているところもございます。

本市の空き家バンク制度では、平成 24 年に旧生野町地域からスタートし、これまでに累計で約 330 件の登録がございまして、150 件が成約されているという状況でございます。本市では、購入後、スケルトン物件同様に用途の規制も特にしておりませんし、入居されてからも改築に伴う費用の一部を補助する制度や、当初に家の片づけを支援する制度もございます。本市としては、居抜き物件の紹介やあっせんはいたしておりませんが、店舗専用で物件をお探しの場合、現制度でもマッチングのお手伝いをさせていただくことは十分に可能ですので、お気軽に御相談いただければありがたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（松田 尚大君） 以上で、福元礼捺さんの一般質問は終了しました。

ここで、議長交代のため、暫時休憩します。

再開は、午後 2 時 25 分とします。

午後 2 時 11 分休憩

午後 2 時 26 分再開

○議長（山内 勇斗君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

議長に就任しました、和田山高等学校の山内勇斗です。不慣れではございますが、皆様方の御協力をいただき、円滑な議事運営に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

次に、通告第 9 番、稲葉愛美さんの一般質問を許可します。

議席番号 4 番、稲葉愛美さん。

○議員（4 番 稲葉 愛美君） 私、稲葉愛美が、J R 生野駅東側待合室の活用について質問させていただきます。

私は生野駅の待合室をより過ごしやすくできないかと考えます。

現在、播但線は電車が 1 時間に 1 本程度しかないので、私たち学生は、待ち時間を学校で過ごしたり、駅で過ごしたりすることが余儀なくされています。ですが、ほとんどの学生は待合室を使用せず、階段に座り込んでいるのが現状です。実際に私も、駅のホームに向かう際、階段に座っている人が大勢いて、通りにくいと感じました。同様に、駅を利用する方や地域の方の迷惑になります。10 人程度いるだけで通行人の妨げになるため、待合室の活用や広場にベンチを設置することで、電車を待っている人が分散されて問題が解決できると思います。また、待合室を活用し、待ち時間をより過ごしやすくするのはどうでしょうか。

夏は暑く冬は寒いのでエアコンの設置や、椅子の数を増やすことで、高校生だけでなく、駅を利用する方も誰もが使えると過ごしやすくなると思います。このような案を J R に要望を出していただくことは可能なのでしょうか。

○議長（山内 勇斗君） 渇本稔議員、答弁願います。

○**渚本 稔君** それでは、生野高校、稲葉愛美議員の御質問にお答えいたします。

J R播但線の乗客が減少する中、待合室の活用という課題は大変重要なもので、貴重な提言をしていただきました。

現在、J R播但線の和田山寺前間の乗車密度、つまり1日当たりの平均乗客数は972人という状況です。そして、生野駅の乗降客数は380人で、その大半は生野高校生です。ですから、その提言は大切にしなければならないと考えます。

生野駅西口ローソン側の芝生広場は、子供連れのお母さん方もよく利用されており、また、生野地域自治協によるイベントも開かれることから、高校生のみならず、ベンチの需要は高いと思われます。提案の趣旨を市にしっかりと伝え、実現に向けて取り組みます。

東口待合室の活用の提案をいただきましたが、現在、ベンチ式の木製の椅子が設置してあり、15人が座れます。自治協が銀谷のひな祭りなどイベントで飾り付けたり、展示を行っていますが、管理している自治協と相談した上で、高校生が同様のイベントを行うことは可能だと思います。

地球温暖化の影響でかつてない猛暑が続いているので、待合室にエアコン設置の要望は理解できるものです。設置するとなると、J Rの許可を得た上で、費用は市が負担しなければなりません。市は現在、猛暑から一時的に涼しさを求める場所として、生野支所、生野書院、生野交流館等15か所をクールスポットとして市民に利用を案内しておりますが、その施策を拡大するという考え方も成り立つと思います。問題は、電源をJ Rから借りなければならないことです。まずはその話合いから始めなければならないので、すぐには実現しない問題ですが、J R播但線の主要な乗客である高校生からの提案なので、市に取組を始めるよう、しっかりと伝えてまいります。

また、待合室活用の際に課題となるのがW i - F iの設置です。現在、西口の観光情報センターが、観光客向けに無料のW i - F iスポットを設置していますが、残念ながら東口の待合室まではほとんど届かない状況であります。これも東口に設置するとなると電源が必要になるので、J Rとの話合いを要し、今後の課題となります。

しかしながら、東口待合室の活用ということは、J R播但線の活性化にとって大事なことなので、高校生の若い感覚で活用のアイデアを出していただき、私自身は、それらの実現に向けて全力で取り組みたいということを申し上げまして、稲葉愛美議員への答弁といたします。御提言ありがとうございました。

○**議長（山内 勇斗君）** 以上で、稲葉愛美さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第10番、井上聖陽君の一般質問を許可します。

議席番号5番、井上聖陽君。

○**議員（5番 井上 聖陽君）** それでは、僕、井上聖陽が、学校の老朽化について質問させていただきます。

僕は、現在、生野高等学校のバドミントン部に所属しています。学校には新体育館と旧体育館があり、放課後には新体育館がバレー部とバスケットボール部に使われています。そのため、僕たちバドミントン部は旧体育館を使用しています。新体育館はとてもきれいで問題ないのですが、旧体

育館では天井に穴が空いているので、水たまりができたり、床が滑ったり、凸凹があったりして部活動の安全性が脅かされています。これは僕たちにとって大きな課題です。

朝来市の高校生議会で以下の提案をしたいです。

旧体育館の改修について、市議会を通して、兵庫県の教育委員会に要望していただきたいです。特に、天井の修理、床の改修を要望したいです。これにより、バドミントン部はもちろん、ほかの部活動も安全に利用できる環境を設備していただきたいと思います。

さらに、教室の老朽化により机もがたがたしており、授業中に動くたび揺れ、集中力を邪魔する原因になっています。この問題も合わせて、朝来市の高校生委員会で以下の提案をしたいです。

机の安全性に向けて、市議会を通して兵庫県の教育委員会に改善の要望をお願いしたいです。揺れる机は学習の妨げになっており、集中力を維持することが難しい場面があります。安定した学習環境を整えるため、市のサポートをお願いしたいです。これらの要望は可能でしょうか。

○議長（山内 勇斗君） 嵯峨山博議員、答弁願います。

○嵯峨山 博君 それでは、井上聖陽議員の質問にお答えします。

まず、兵庫県教育委員会では、老朽化している校舎や体育館など建物の長寿命化を目指して順次改修工事が進められている状況です。兵庫県教育委員会で発表しています第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画（令和4年度から8年度）の内容を確認しましたが、改修工事につきましては、耐震改修からの経過年数や建築の古い順に、限りある予算の中で、校舎の大規模改修や普通教室の一部改修、そして、トイレの改修が実施されている状況であります。生野高校につきましては、令和4年度にトイレの改修が実施されていると思います。

そうした中で、旧体育館の老朽化の問題、あるいは学習環境について、市議会を通して県教育委員会へ要望してほしい。また、学習環境整備に市のサポートをお願いしたいとの質問であったと思います。

結論から申し上げますが、まず高校施設につきましては、先ほど申しましたけれども、県が担う事務でございます。したがって、市が積極的にサポートを行うことは非常に難しいというふうを考えております。また、市議会を通して県教育委員会へ要望してほしいということでもありますけれども、御承知のことかと思いますが、御要望をお伺いしましたので、すぐに議会から県教育委員会に伝えておきますということにはなりません。市議会から県教育委員会へ要望を伝えるとしましては、意見書を提出することができます。この意見書を提出するには、私が今答弁を担当しておりますので、意見書を作成するとしましても、こうした要望に対しまして、例えば、校長先生から現在の状況を既に要望はされていないかなどを確認させていただいて意見書を作成します。そして、本会議で意見書を発議し、意見書を議員全員で審議した後で採決します。意見書を送ると決まれば提出できますし、そうでなければ送ることはできないということになります。

これとは別に、市内にあります中学校、高等学校などの校長先生や各高校の関係者と市長、教育長が集まり、会議を行っております。その会議で出た内容を取りまとめ、毎年、市長、教育長が県教育委員会へ出向き、高校教育振興のための要望や意見交換を行っております。

今出された要望につきましては、市長、教育長が実際に聞かれておりますので、市議会を通さずとも県教育委員会へ声を届けることができると考えております。

しかし、県の教育委員会へ声を届けたからといって実現するとは限りません。実現に至るまで、今後も生徒会やPTA、学校や地域が連携して要望を続けることが大事でありますし、朝来市議会から要望を伝えてほしいと、いつでも依頼をしていただければと思います。また、県議会へ請願を提出していただく方法もございますので、御検討いただければと思います。

そして、これは私からのお願いとなりますけれども、少子化の影響もございます、近年生徒数も減少しておりますが、いつまでも市内にある高校が存続するように願っております。そうした中でも、今ある部活動ができる限り存続して、いつまでも旧体育館を使用する状況をつくり続けていくことも重要であると思います。そうしたことも御理解いただきますようよろしくお願い申し上げ、私からの答弁とさせていただきます。

○議長（山内 勇斗君） 以上で、井上聖陽君の一般質問は終了しました。

次に、通告第11番、岡山凜香さんの一般質問を許可します。

議席番号6番、岡山凜香さん。

○議員（6番 岡山 凜香君） それでは、私、岡山凜香が、朝来市の支援金制度について質問させていただきます。

現在、朝来市には、低所得世帯支援給付金制度をはじめとする制度があります。近年の物価高騰により生活必需品を購入しにくい家庭が多くあります。実際、私の家庭は生理用品が必要です。家庭に女性が複数いる家だと、1袋は1か月でなくなってしまいます。高いからといってそのままにしておくと菌が繁殖し、病気になる可能性があります。この問題は、多くの女性が不満に思っていることだと思います。

次に、電気代についてです。夏の時期になるとエアコンが必要になります。最近では、地球温暖化の影響により、エアコンなしでは生活がしにくくなりました。ニュースによると、節約しようとして、エアコンを使わずに生活して死亡した例が多く見られます。

このように、生活に必要最低限のもので悩んでいる方が多くいます。実際、国、県や市などで支援金制度などがありますが、その対象が低所得世帯などとされていますが、低所得世帯の基準が低く、その対象の家庭でない方も生活に困っています。

朝来市では、プレミアム付商品券も販売されていますが、1万セットしか販売されていないので、生活に余裕がない方は知らなかったり、買うことができなかったのではないのでしょうか。

これらのことから、朝来市の多くの家庭が生活しやすいように、朝来市の支援金制度を見直して、全員に給付することはできないのでしょうか。御検討いただけませんか。

○議長（山内 勇斗君） 西本英輔議員、答弁願います。

○西本 英輔君 それでは、岡山凜香議員の御質問にお答えいたします。

議員のおっしゃられるように、低所得の方に限らず、国民・市民の台所事情は非常に苦しくなっておりますことは、物価上昇に対しての給与の上昇が追いついていない国民の負担を軽減するため、

所得税の定額減税が行われていることから明らかなでございます。幾つかの事例を御紹介いただきながら、支援金制度を見直して市民全員に給付すべきではないかという御提案は、市民一人一人の暮らしをよくよく考えられたすばらしい御提案であると感じております。

しかしながら、それを実現、実施しようとするれば幾つかの課題があろうかと思えます。

一つ目は、例えば、例示されました低所得世帯支援給付金事業は、議員御指摘のとおり、対象は低所得世帯となっておりますが、本年度当初予算として計上されている約2億円は、市の独自財源ではなく、国からの補助金で措置されており、対象の拡充は難しいかと考えます。

次に、市の独自事業で全世帯に実施するとなれば、単純計算で12億円以上を市の一般財源で措置する必要がありますが、朝来市の市民税の税収とほぼ同額という大きな金額ですので、こちらに關しても少々実施することは困難ではないかと考えます。また、ほかの事業におきましても、低所得世帯が対象となっておるものがありますが、市民全員となると、やはり大きな財源が必要となりますので、所得が少ない者ほど物価の高騰などの影響を受けやすい点などを考慮し、一定の線引きがされているものと私は解しております。

では、低所得者の定義はというと、多くは住民税非課税世帯ないし住民税均等割のみ課税世帯が対象です。様々なケースがあり、あくまでも目安となりますが、例えば、会社員、専業主婦、子供2人の4人世帯だと、所得金額171万円以下、会社員の単身世帯であれば、所得金額45万円以下、年金収入のみの高齢者夫婦世帯であれば、公的年金の年間受給額が171万3,000円以下でその対象になろうかと思えます。厚労省の発表によりますと、全国の世帯所得の平均は524万2,000円となっておりまして、低所得世帯は発表にある平均的な世帯と比べ、3分の1に満たない所得しかないということを御理解いただければと思います。とはいえ、市民の皆さんが生活しやすい施策が必要であるという岡山議員のお気持ちは非常に大切であり、私ども市議会も市当局も同じ考えでございます。

朝来市では、過年度におきまして、全市民世帯を対象といたしまして、上水道の基本料金や学校給食費の減免、あさご元気応援券の配布など、現金給付ではありませんが、市民の皆さんの負担軽減に向けました取組をしておりますこと。また、本年7月から、乳幼児・こども医療費助成事業、10月からは、児童手当給付事業の所得制限を撤廃するなど、全てではありませんが、対象の拡充も合わせまして見直しをしておりますことは御理解を賜りたいと思います。

次に、例示されております女性用生理用品やプレミアム付商品券についてですが、これらは議員御指摘の趣旨、同様ないし近しい内容で過去の一般質問や委員会で議論がなされております。その結果、生理用品に関しましては、市立小中学校では保健室に備えられておるようになっておりますし、県立高校、私立高校、大学におきましては、県にて関連経費が予算化されているという認識でございます。もちろんそれでは全ての世代を網羅できているわけではございませんので、今後におきましても、少しでも市民の皆さんの負担軽減につながりますよう、必要な事業におきましては見直しや実施に向けて取り組んでいく所存でございますので、よろしくお願いいたします。

以上で終わります。

○議長（山内 勇斗君） 以上で、岡山凛香さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第 12 番、平岡由衣さんの一般質問を許可します。

議席番号 10 番、平岡由衣さん。

○議員（10 番 平岡 由衣君） それでは、私、平岡由衣が、朝来市の駅に思い出に残るお土産の設置をすることについて質問させていただきます。

私は、朝来市内の駅にお土産を売れるスペースをつくるのはどうかと考えます。

地域の課題を発見し、解決法を考える本校の特色あるゆめいくの授業で、多々良木ダム湖マラソンにアンケートに行った際、バスターミナルから新井駅まで送迎の車が 1 台出ていました。私もそれを利用し、朝来体育館から新井駅まで行きました。電車までの時間が 20 分ほどあったのですが、既に新井駅にある椅子は全て使われていて、立って待っている人がほとんどでした。アンケートを取った際、市外からの人も多く、電車に乗っている人はほとんどが市外の方だと思います。車で来ている人は、マラソンの後、道の駅に寄り、お土産を買うなどすると言っている方が多かったのですが、電車の本数が少ない分、待ち時間が長くなりがちなあの駅の周りに何か少しでも思い出に残るようなお土産を設置するのはどうかと考えました。机の上にお土産を並べたり、朝来市の美しさを伝える写真などを展示したり、ガチャガチャを設置したり、少しでも楽しめる場所をつくることで、観光客の方に、朝来市についてよりよく知ってもらえるのではないかと考えました。このような取組はできるでしょうか。

○議長（山内 勇斗君） 水田文夫議員、答弁願います。

○水田 文夫君 それでは、生野高校 26 期生の水田文夫が、同校 78 期生、平岡由衣議員の御質問にお答えします。

楽しい質問ありがとうございます。さて、どのような思い出に残るものがよいのか、いろいろ考えてみました。私の若い頃は、旅したときに絵はがきを買ったり、キーホルダーを買ったり、焼き物の産地であつたら、ぐいのみを買ったりして集めていきました。しかし、絵はがきは、今スマホの時代で、みんなが写真を撮る。私自身もよく撮るんですけども、そういったことでほとんど買わなくなりました。一方、キーホルダーは、学生かばんや車や家の鍵にぶら下げている方がたくさんあります。私自身も孫が買ってくれたミニシーサー、沖縄のお土産を鍵につけて今でも持ち歩いています。現在、オリンピックが開催されているパリにはエッフェル塔のキーホルダーも売ってありました。ですから、キーホルダーはインバウンドの方にも手に取っていただけるものではないかなと思って考えました。そして、もっといいのは、御提案いただいたガチャガチャという、回したら何か出てくるんやと思うんですけども、その中のカプセルにも入れることが可能やということです。ですから、キーホルダーに何をつけるかという部分でお話をしたいと思います。

そして、加えて、素材を何にするのか。生野鉾山、オオサンショウウオは生野というイメージ。竹田城跡は、竹田と和田山という地域イメージが浮かびます。それでは、他の地域、例えば、梁瀬駅のある山東には茶すり山古墳、ウツギノヒメハナバチが有名ですし、酒蔵が 2 軒もあります。青倉駅、新井駅のある朝来には、神子畑鉄橋やシクナー、あさご芸術の森美術館の作品群、そし

て、岩津ねぎなどがあります。このようにそれぞれの駅にモチーフとして考えて、何かをつくるのにはよいモチーフがたくさんあります。どんなキーホルダーを作るか。一番手っ取り早い方法を考えました。それは、現在、あさご芸術の森美術館で開催されている海洋堂フィギュア展、見に行かれたかもしれませんが、そこには本当に 3,000 以上のフィギュアが並べられています。そこに行けば何かのヒントが見つかるのではないかなと思いますし、もし時間があつたら見ていただいて、そういうキーホルダーの先につけるものの提案をしていただければ逆にありがたいなと思います。

素材は、鉱石の道で最後に運んだのが錫なんですけども、錫は食器のメッキにするような金属です。ですから、できたら、私が作るのであれば錫で何かを作りたいなというものがあります。そういうものを使うことによって、いわゆるものに物語が生まれてくるかもしれません。

私はこの質問を受けて、改めて市内の 5 駅を回ってきました。その中で、やはり無人駅という言われるところがたくさんあって、そこにはクーラーのない待合もたくさんありますので、そういった部分も含めて整理しながら、また、先ほどの質問にもありましたけれども、待合所にクーラーをつけたり、コワーキングスペースのような形で整備できるように今後取り組んでまいりますので、協力よろしくお願いします。これで回答とします。

○議長（山内 勇斗君） 以上で、平岡由衣さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第 13 番、細川陽葉里さんの一般質問を許可します。

議席番号 11 番、細川陽葉里さん。

○議員（11 番 細川 陽葉里君） 私、細川陽葉里が、買物しづらい方への対応について質問させていただきます。

ゆめいくの活動でアンケートを取りました。その中で一番多かった回答が、お店が少ないでした。私もそう思った経験があります。それに、車のないお年寄りの方は少しの買物でも近くのお店に歩いて行ったり、電車やバスを乗って行かなければならず、暑い日や雨、雪が降るときはとても大変です。

そこで、公営のお店を開設するのはどうでしょうか。

兵庫県の小野市では、市が公設するコンビニを開設することが決まり、市が建物を建設、住民団体が運営しています。朝来市でも、空いている場所を活用して運営してみるのはどうでしょうか。近くにお店があることで、日用品の買物はもちろん、災害が起きたときの食糧供給拠点にすることができると考えています。

○議長（山内 勇斗君） 加藤貴之議員、答弁願います。

○加藤 貴之君 それでは、細川陽葉里さんの御質問にお答えします。

御紹介いただいた小野市の公設コンビニふれあいマートに私先日行ってきました。市の中心から車で 15 分ほどの下東条地区にあり、コンビニを一回り大きくしたような広さでした。食料や日用品に加え、地元産の野菜や手作りのお総菜も売られていました。喫茶もあり、モーニングを頼みました。手作りのおかずが何品もついておいしかったです。食べ終わる頃にお客さんが来ました。年配の女性 5 人組で、送迎の車に乗ってきたそうです。買物をして、みんなでお茶をして帰るとのこ

と。宅配や移動販売もあるけど、実際に来て見て買えるのがいいし、仲間と一緒におしゃべりができて楽しいということでした。小野市のふれあいマートは、2019 年 2 月に市長が発案し、2021 年 4 月にオープンしました。空き店舗を市が改装、この工事費は合計 3,370 万円。運営は地元の住人 12 人でつくる団体が行っています。経営の見込みは年間 350 万円の赤字、これは 5 年間は市が面倒を見て、それからまた計画を考える方針だということです。

さて、朝来市でもこういったお店を造ってはどうかという御質問です。

住民の福祉の向上につながるものですので、造ることの理解は得られやすいというふうに思います。しかし、むしろ課題は、その後の運営をする住民団体があるかどうか。そこが極めて重要なポイントだというふうに思います。

小野市長の基本的な考え方は、やってみなはれです。次のように述べています。今回の公設コンビニの狙いは、トップダウンでどんどんいく方式じゃなくて、私がやります、私たちにやらせてください。こういう熱意と創意と誠意のある三つの意識を持ったその人たちが目覚めることを一つの狙いとしているんです。このように市長は述べています。つまり、必要なお金を出しますけど、あくまで住民団体自らが立ち上がって、自分たちで運営してくださいねということです。現在の運営主体の 12 人は、元先生や元市の職員、元会社員など、いわゆる元気高齢者が集まっているようです。

さて、御存じのとおり、朝来市は小野市よりも過疎化が進んでいます。小野市の下東条地区の人口は、ここでも 6,000 人、高齢化率が 30%です。ただ、朝来市は、一番大きな地域である朝来地域自治協議会でも人口 5,000 人、高齢化率は 40%を超えています。お店をするぞと立ち上がる 12 人がいるかどうか、そこは本当に慎重に調べる必要があるというふうに思います。

ただ、ここからは私の提案ですが、お店を立ち上げるのは元気な高齢者には限らないというふうに思います。若者が立ち上がる、そんなケースもあるのではないのでしょうか。

千葉県の高校生が、校内にコンビニを立ち上げた事例を最後に紹介したいと思います。2023 年 11 月 16 日の千葉日報ですが、千葉県立特別支援学校市川大野高等学校の校内に 15 日、生徒たちが運営するコンビニ S m i l e M a r t がオープンしたと、地元のファミリーマート市川大野町四丁目店に協力を受け、仕入れを行い、地域にも開放すると。これは学校に購買が欲しいという希望が生徒から寄せられたのがきっかけだそうです。小売業などを学ぶ同校の生徒たちが実践的に働く力を身につける機会になることから、職業訓練の一環で始めたそうです。

御存じのとおり、和田山高校の生徒さんたちは、経営やビジネスを広く学んでいます。毎年、わだやマーケットという形でお店づくりをしています。ぜひ、地域に強い生野高校、ビジネスに強い和田山高校、両校が連携して、高校生自らのお店づくりを考え、市にも提案いただけたらというふうに思っております。

以上です。ありがとうございます。

○議長（山内 勇斗君） 以上で、細川陽葉里さんの一般質問は終了しました。

次に、通告第 14 番、松田尚大君の一般質問を許可します。

議席番号 12 番、松田尚大君。

○議員（12 番 松田 尚大君） 私、松田尚大が、駅の近くに気軽に使える公共施設を造ってほしいということについて質問させていただきます。

私たちは以前、生野高校で、地域への不満についてアンケートを取りました。その中でも、電車の本数が少ないや、学校終わりに寄るところがないなどの意見が多く出ました。電車の本数が少ないということは、その分待ち時間が長くなってしまうため、どこかに寄って時間を潰すための場所が欲しくなります。実際に僕も電車を 1 本逃してしまい、1 時間半近く待つこともありました。

そこで、駅の近くに高校生が気軽に寄れて勉強ができたり、Wi-Fi 環境が整っていて、少し休憩ができたりするような公共施設を造ってほしいと考えています。そうすることで、電車の長い待ち時間を有意義に使うことができます。実際に八鹿駅の近くには図書館があり、高校生が勉強するために利用することも多く、電車の待ち時間を有効的に使っています。生野には一応図書館がありますが、高校から反対の方向にあり、距離もあるため、気軽には寄れないため使用することができません。なので、新しく駅の近くに公共施設を造ってほしいと考えていますが、可能でしょうか。また、駅の近くには空き家が多いため、空き家を利用して造ることはできないでしょうか。

○議長（山内 勇斗君） 上田幸広議員、答弁願います。

○上田 幸広君 それでは、松田尚大議員の質問にお答えいたします。

御質問の前段として、学校生活を過ごす上での地域への不満についてアンケート調査を行われたとありました。その中で、電車の本数が少ない、学校終わりに寄るところがないなどの意見が多く寄せられたとお聞きし、私も本当にそうであると感じている 1 人でございます。

コロナ禍を経て、兵庫県内の JR 赤字路線が大きく報道され、播但線も利用者が少ないローカル線として、今後の在り方が議論されております。しかし、生野高校生の皆さんにとりましては、松田議員を含め、播但線は重要な通学の交通手段であり、これからもその利便性の向上がなされなければならないと考えております。今回の御質問での、駅の近くに高校生が気軽に寄れて勉強ができたり、Wi-Fi 環境が整う施設が欲しいとの御提案は、生野高校が小規模校であっても、魅力あふれる学校として、10 年後、20 年後も続いていくためには必要な施設ではないかと考えております。

ここで一つ、先進事例を御紹介いたしますと、新潟県に、JR ではございませんが、えちごトキめき鉄道という鉄道があります。その路線の直江津駅という駅のホーム上には、机やコンセント等を備えた学生専用自習室が設置されており、2020 年 4 月から利用されております。朝 7 時から夜 10 時まで利用ができ、冷暖房完備で、座席数は 24 席あり、無料ですが、駅ホーム上にあるため、別途乗車券か入場券が必要になるというものでございます。このような斬新的な取組は、JR ではなく、第三セクターであるから実現できたのかも分かりませんが、先ほどの稲葉議員の生野駅東側待合室の利活用の御質問と合わせて、大いに参考になる事例であると思います。

また、議員が例示していただきました養父市の図書館にも行かせていただき、担当の職員の方ともお話をお聞きいたしました。夜 10 時まで勉強ができる、Wi-Fi の環境が整備されているの

で、夏休みでも多くの高校生の皆さんが利用されていますとのことでした。また、八鹿高校から図書館までは徒歩で15分ほどかかります。また、図書館から八鹿駅までは同じく15分ほどかかりますので、徒歩より自転車での利用が多いとお聞きいたしました。

朝来市では、以前より、生野メインホールを小中高生のために開放しております。生野高校におきましても、現在、徒歩通学が主体でございますが、将来、播但線を利用する高校生の皆さんが、八鹿高校のように生野駅から自転車通学ができるようになれば、手軽に生野メインホールに立ち寄り、館内での自習や少しの休憩も可能になるのではないかと考えます。また、議員が御要望のWi-Fi環境も生野メインホールに整備されるよう、当局に強く訴えたいと考えております。

新たな公共施設の建設におきましては、多くの費用がかかり、早期の実現は今のところ困難であると思われます。また、空き家の活用については、空き家が個人の所有物であり、いろいろな法律や条例で個人の財産としての義務や権利が定められているため、簡単には利用はできません。ですが、生野高校が昨年創立110周年を迎え、まだこれからも未来に向けて発展するためにも、地域の皆さんの理解を得ていけるならば、古民家の利用も不可能ではないかと思えます。今後、議員の御提案を実現できるよう、調査研究を行っていかねばと考えております。御提言ありがとうございます。

以上で、私からの答弁といたします。

○議長（山内 勇斗君） 以上で、松田尚大君の一般質問は終了しました。

以上で、本高校生議会の会議に付された事件は全て終了しました。

これをもって閉会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山内 勇斗君） 異議なしと認めます。

会議を閉じます。

朝来市議会高校生議会の閉会します。

○議会事務局長（宮元 広司君） 皆さん、大変お疲れさまでした。

会議を閉じるに当たり、本日、御来賓として御臨席を賜っております朝来市教育長、小倉畑祐貴様から御講評をいただきます。

小倉畑教育長、お願いいたします。

○教育長（小倉畑 祐貴君） ただいま紹介いただきました、朝来市教育長の小倉畑と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

高校生議員の皆さん、大変御苦労さまでございました。参加いただいた皆さんがそれぞれ、朝来市が活性するため、また、高校生の皆さんをはじめ市民の方が安心して暮らすためなどのことについて、様々な角度から質問をいただきました。今日まで多くの準備をして本番を迎えられたことと、改めて感謝を申し上げます。

今日は後ろから見させていただいてましたけれども、2人の議長さんはじめ質問者も大変落ち着かれましたし、また、自分の席での質問や答弁を聞く姿も、後ろから見ている姿ではあつたん

ですけれども、とても立派だなというふうに思っております。大変お疲れさまでした。

朝来市役所におきましては、日々市民の皆さんが安心して暮らせるまちを目指して、市民の皆さんの声を生かしつつ、予算や人材、そして、地域資源等を有効に活用して様々な取組を行っているところです。皆さんはこの高校生議会に向けて、朝来市のまちづくりにこれまで以上に関心を持っていたんだと思いますので、今後もまちづくりに興味や関心を持ってほしいと思っています。また、そんな話を、そして今日までの経験を、家族や友達、そして、先輩とか後輩にも伝えていただきたいと思っています。そのことで、朝来市をこんなまちにしたい、こんなまちになればいいという話題や、そして、そんな皆さんの輪が広がるとともに、自分はどんなことに力が発揮できるかと前向きな思考にもつなげてもらえるのではないかと思います。

あわせまして、今後どこで暮らしても、ふるさと朝来市のことを忘れないでほしいと思いますし、1人でも多く朝来市民として暮らしてもらいたいと願っているところです。

最後に、私のことで申し訳ないんですけども、これは去年もお話したんですが、私が20年ほど前に、ある先輩から、自分には特別に自慢できることはないけれど、選挙には一度も欠かさずに行っていることは自慢できるというお話をされたことがありました。私もこの話を聞いてから、より意識してそうしているんですけども、皆さんも選挙には必ず行くことはもちろんですけども、政治やまちづくりへの興味と関心を持って、暮らしやまちをよくする意欲のある社会人として成長されることを期待するとともに、本日の高校生議会に関わってくださった関係者の皆様に厚くお礼を申し上げて、講評といたします。本日は大変ありがとうございました。

○議会事務局長（宮元 広司君） 小倉畑教育長、ありがとうございました。

続きまして、足立副議長から講評をいただきます。

副議長、お願いします。

○副議長（足立 義美君） 皆さんこんにちは、副議長の足立義美です。御参加いただいた14名の高校生議員の皆さん、そして、議長役を務めていただきましたお二人の方、お疲れさまでした。そして、答弁をいただいた市議会議員の皆さんも、真剣に考え、加藤議員のように、小野市まで現地調査に出かけると、そういうようなことで、どうしたら皆さんの提案が実現に向かっていくのかな、つなげていけるのかなというような答弁ということで、本当に、私が市議会議員を褒めたらあかんですけれども、熱心に真剣に的確に答弁していただいたと、私もそういう意味では議員の方にも感謝したいと思っております。

高校生議会は4回目を迎えました。主権者教育の一環という性格を有しています。皆さんが主権者として自覚を持つことは、ただの権利を超えて、責任も伴ってまいります。政治や社会の仕組みについて学び、自分の意見を持ち、行動することが重要です。皆さんの声が未来を形づくる力になります。今日ここでの皆さんの真剣な質問が、将来に向けての第一歩となることを願っております。

若者の視点やアイデアは、ときに新しい風を吹き込みます。社会は常に変化しており、その変化に対応するためには、新鮮な視点が必要です。皆さんが持つ独自の考え方やアプローチが、今後の社会をよりよいものにするためのヒントになればと考えます。長年の慣習や固定観念にとらわれ

ず、自分自身の感覚を信じ、柔軟な思考を持ち続けていただきたいと思います。

皆さん一人一人が、自分の意見をしっかり述べていただきました。実現可能ないろいろな提案をいただきました。駅関係については、5件の提案がありました。それら多くの提案の中から、特に磯愛里さんの質問について触れさせていただきます。

朝来市の地域活性化に向けて、アグリツーリズムを提案されました。目的が明確で、まちの全世代が元気に楽しく過ごすことを実現したいという意図がはっきりしておりました。また、観光客との交流を通じて、地域の魅力を再発見できる点については私も同感です。朝来市の豊かな自然を体験できる具体的な取組の実施、そういうものを促しておりまして、藤本議員の答弁の中にもありましたように、実現可能性も高く、朝来市の行政課題であります耕作放棄地の減少策をどうしていくか、そういうことについても有効であると、こう考えております。

本日、市議会議員の答弁は、仮に執行権があるということでさせていただいております。この場に執行権のある藤岡市長さんも参加されております。市の当局としての対応についても、最初の藤岡市長の挨拶にもありましたように、市政に反映されております。皆さんの若い意見が市政に反映されている、そういうケースもあるということでございます。今後に期待、私もしたいと思います。また、この皆さんの提案を市議会議員の話合いの中にも生かしていきたい、そう考えております。

未来は皆さんの手の中にあります。自分たちの手で社会をよくするための方法を見つけ、実行してってください。皆さんの情熱と想像力が、ふるさと朝来市の未来を切り開きます。今日の経験を大切にしてください。

皆さんの成長と今後の活躍に期待して、最後に、多くの関係者の協力を得て、この高校生議会が開催できましたことに感謝申し上げ、講評といたします。ありがとうございました。

○議会事務局長（宮元 広司君） ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度朝来市議会高校生議会を終了します。

お疲れさまでした。

午後3時18分閉会
